

清水南のお宝めぐり

(片山・新保編)

福井市清水南小学校

清水南小学校では、十月二十日に全校で「清水南のお宝めぐり」を行いました。地区ごとに行ってみたい所を訪問して、地域の方から多くのことを教えていただきました。

片山・新保地区では八幡神社と片山真光寺跡塔址に行きました。

そして十一月十一日の学習発表会では五・六年生が自分たちの地区の宝としてみんなに紹介しました。

八幡神社

八幡神社は円墳の上に建っています。



昔、おさむらいさんが「なむはちまん」といったから八幡神社と名付けられたそうです。だから八幡神社は、おさむらいさんの守り神になったそうです。八幡神社には、新しい鳥居と古い鳥居があります。

新しい方は、一八四一年(天保十一年)製で、一九四八年の福井地震で倒壊、修復の上建て直されました。

古式鳥居は、古い方で一六一三年(慶長十八年)の建立であり、地震にもたえたそうです。古式鳥居は、四〇四年も建っているなんてすごいと思います。



ちなみに、「こしきとりい」は、古い鳥居という意味です。県内でも、こんな古い鳥居はほとんどないそうです。そんな鳥居が片山町にあるなんてびっくりしました。

(感想)

私は、片山町に住んでいるけど、全然八幡神社古式鳥居の事を知りませんでした。でも、お宝めぐりの時、たくさんのお話を教えてくださったので色々なことを知ることが出来ました。私が一番ビックリしたことは、八幡神社の古式鳥居が地震で倒れなかった事です。四〇〇年以上も建っているのにとっても頑丈ですごいと思いました。

八幡神社は、何の上に建てられているでしょう?

古墳(円墳)

お城

お寺

Q、おさむらいさんが何と言ったから八幡神社と名付けられたのでしょうか?

①はちまんだぶつ

②なむはちまん

③なむなむはちまん

(答え) ②

片山真光寺跡塔址

片山真光寺跡塔址には約二〇〜三〇mほどの五重塔があったそうです。ここからのながめがよいので、ここに五重塔を建てたそうです。



しかし戦国時代、朝倉氏滅亡の翌年、一五七四年に、一向一揆という一揆で壊されてしまいました。

現在の片山真光寺跡塔址には、五重塔の台座の跡が残っています。他にも石と土が焼け焦げた跡や、そうりんやふうたくの破片があったそうです。このようなことは、全国初のことだそうです。

五重塔は誰がたてたのかはまだくわしくわかっていないけれど、聖武天皇のような力のある人が建てたとされています。



(感想)

私が一番おどろいたことは、そうりんやふうたくの破片があったことが、全国初ということでした。他にも、約二〇〜三〇mほどの五重塔があったことや、台座の跡が残っているということにも驚きました。

八幡神社は、何の上に建てられているでしょう?

屋根

台座

鈴

(答え) ②

Q、片山真光寺跡塔址にあった五重塔の高さはどれくらいあったでしょう?

①二〇〜三〇m

②三〇〜四〇m

③四〇〜五〇m

(答え) ①

(感想)

私は、今まで八幡神社の古式鳥居や片山真光寺跡塔址のことは知らなかったけど、「お宝めぐり」をしてたくさんのお話を聞くことができたのでよかったです。私は片山に住んでいるけど、まだまだ知らないことがあるんだなあと思いました。もっとたくさんの方に自分の住む地域のことを知りたいです。